

「団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会」最終報告書(素案)の概要

<東京都の高齢者を取り巻く状況>

【超高齢社会の到来】 近い将来4人に1人が65歳以上の高齢者に
 【地域社会の支え合い機能の低下】 地域の見守り体制やマンパワーが弱体化
 【元気高齢者の存在】 65歳以上の8割超が介護保険の介護を要しない元気な高齢者

<地域活性化の芽生え・可能性>

【地域資源の活躍】 多くの団体・組織が様々な地域活動を展開
 【社会活動等への参加意欲の高まり】 活動を通じて自分らしい生き方の実現を望む声
 【地域と行政からの期待】 団塊世代や元気高齢者に対する期待は大きい

団塊の世代や元気な高齢者が続々と地域へ

<「新しい高齢者像」の発信>

「地域社会の担い手」として、多様な形で地域社会に参画し、これまで培ってきた豊富な知識や経験を活かして、自分たちが住む地域を自らの意思と力で支え、活力ある地域社会を創造する推進役

<団塊の世代や元気な高齢者を地域参加に導くアプローチ>

第1ステップ

まず気軽に社会活動へ参加を：「地域デビュー」のすすめ

第1ステップ

【新たな「生きがい」さがし】
 定年退職し地域に戻ってきた団塊の世代や元気な高齢者が、いきいきと豊かな生活を送るために、地域の中で新たな「生きがい」を見出すことが必要。

【地域デビューのすすめ】
 まず地域活動に参加して地域に顔を出そう。
 ・知的活動、スポーツ活動、レクリエーション活動など、自分の趣味や特技など、入りやすい分野から気軽に参加。
 ・1人で参加がためらわれる場合は、自分の気心の知れた仲間と参加を。

【参加を促進するにあたってのポイントと行政・地域の取組】

気運の醸成

(イベントの実施)

・東京都で気運盛り上げのイベントを実施
 成果は別冊でとりまとめ(各種団体の取組を紹介)

きっかけづくり

(元気な高齢者等にターゲットを絞った情報サイトの構築)
 ・東京都域を網羅するポータルサイト(総合窓口)的な役割を果たす。
 ・東京都の地図をのせ、区市町村別に情報検索を容易に。
 ・NPO法人など地域の活動団体等を紹介。

居場所づくり

(ふらっとハウス(地域サロン)事業)
 ・気軽に集まり参加できる地域活動の拠点。
 (おとばサロン)

地域活性化の芽生え

すそ野を広げ
 活躍の場を拡大

第2ステップ

多様な社会貢献活動で活躍を
 「地域社会の担い手」として地域を支える存在に

第2ステップ

【「地域社会の担い手」として地域を支える】
 地域につながりや生きがいを見つけた人が、地域活動からさらに地域の社会貢献活動へ取組が深化し、「地域社会の担い手」として地域で活躍する。

【地域において実践されている取組】

・介護支援ボランティア事業は、65歳以上の高齢者の社会貢献活動をはじめめるきっかけになっている。
 ・参加した活動に応じてためたポイントによって商品券に交換できる仕組みなど、新たな取組も(杉並区 長寿応援ポイント事業など)。

【活動を活発にするためのポイントと行政・地域の取組】

コーディネート機能の充実と人材の育成

・エリアによって求められるコーディネートのスキルや知識は異なる。
 ・住民に身近な地域ベースでは、おせっかい焼きのような存在が必要。
 (地域包括支援センター) (基幹型地域包括支援センターモデル事業) など

マッチング機能の充実

・地域活動団体と担い手を結びつける橋渡し機能が弱い。

・先進的な区市町村も(三鷹市高齢者社会活動マッチング推進事業など)。

企業とのパートナーシップ

(インターネットを活用した取組)

・地域貢献に積極的に取り組む企業を紹介。
 (企業内での退職を控えた人や企業につながりがある人への普及啓発)
 ・退職前セミナー時に地域活動等への参加を積極的に働きかける。
 ・OB会を通じて地域活動等への参加を積極的に働きかける。

活力ある地域社会の実現